

地域密着型金融の推進状況（平成 20 年 4 月～21 年 3 月）

1. ライフサイクルに応じた取引企業の支援の一層の強化

項目	取組方針	20 年度（取組と実績）
(1) 創業、第二創業支援	創業、第二創業の計画には、実現に向けた支援に取組めます。	<p>《創業資金等の支援》</p> <p>創業者からの創業に係る相談に積極的に対応し、創業計画の妥当性について、当組合の保有する業界情報等を踏まえアドバイスを行い、開業および事業の成功に向けた支援を実施いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当組合等が収集したマーケット情報及び業界情報等を踏まえ、事業の成功に向けた事業戦略のアドバイスを行いました。 ・ 創業資金融資に積極的に対応し、創業後においても継続的なフォローアップを行い、事業計画との乖離や諸問題への対応について、アドバイスを行いました。 <p>創業支援融資 7 先 78 百万円</p>
(2) 中小規模事業所の支援、育成	お取引事業所を最もよく知る金融機関として、信頼関係を高める活動を通じて適時、適切に経営支援、育成に取組めます。	<p>《中小規模事業所の支援、育成》</p> <p>当組合が独自に作成した「経営改善マニュアル」に基づき、経営者と当組合が、経営改善に係る共通認識の下に経営上の課題を抽出し、経営改善施策の実効性を的確に見極めた具体的な経営改善計画の策定に関与し、適時適切な資金融資を実施いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営改善支援先 21 先 ・ ランクアップ先 6 先 <p>《リョーシン経営塾を通じて、お取引事業所の経営スキル向上の機会提供》</p> <p>「リョーシン経営塾」(経営コンサルタント法人によるセミナー及び、各種経営レポート)等を通じ、経営塾会員事業所のライフサイクルに応じた経営指導や経営スキルの向上を図られる機会を提供いたしました。(平成 20 年度 参加会員 117 事業所 125 名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「リョーシン経営塾」の講義内容等を参考にして、経営塾会員事業所が経営改善に取組んだことから、経営が改善している事業所も見られた。 ・ 当組合役員、部課店長も経営塾へ参加することにより、講義内容等を参考にして、取引先等事業所の経営アドバイスを行いました。
(3) 多重債務者の支援	多重債務は、債務履行の可能性を見極め、積極的に取組めます。	<p>《多重債務問題への支援》</p> <p>多重、高利借入等でお困りの方には、債務の一本化、返済期間の延長等により毎月返済額の軽減を図る等、多重債務の改善に繋がる融資の取組みを実施いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多重債務者への支援融資 8 先 61 百万円

2. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項目	取組方針	20年度（取組と実績）
(1) 定性情報を適正に評価	お取引事業所の定性情報を適切に評価し、円滑な資金供給に取組みます。	≪お取引事業所の定性情報の評価≫ 「地域密着型金融の推進」により、日常の訪問活動において、取引先事業所の定量・定性情報等を蓄積し、申込時において、当該事業所の事業価値を適正に評価して、地域事業者への円滑な資金供給に取組みました。
(2) 不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資の徹底	法人信用格付の充実と、お客様の資力等を十分に把握したうえで、担保や保証が過度にならないよう適切な保身に取組みます。	≪定量・定性情報を適正に評価し、円滑な資金供給を実施する≫ ご融資の申込において当該事業所の定量・定性情報を適正に評価して、担保・保証に過度に依存しない融資を取組みました。 ・ 担保・保証に過度に依存しない融資を推進するための新商品の発売し、一定の成果を収めております。 * 20年9月 事業者カードローン『絆』 発売 21年3月末現在 161件 402百万円（極度枠）実行 * 21年3月 経営基盤安定化資金 発売 21年3月末現在 90件 359百万円 実行
(3) 職員の「目利き」機能の向上	適切な融資審査の向上に向けた研修等を、計画的に且つ継続的に取組みます。	≪役職員の目利き能力向上を図ることで円滑な資金供給を実施する≫ 職員の「目利き」能力向上に向けた研修等を計画的に且つ継続的に実施いたしました。 ・ 信組協会等が主催する「目利き」能力の向上等を目的とした各種研修プログラム・通信講座等を受講して融資審査等のスキルアップを図りました。 平成20年度：目利き能力向上に関する研修受講者 11名 ・ 営業店長および役席によるOJT・営業ミーティング等で、お取引先事業所における課題等の把握と対応策を議論し、営業店職員の「目利き」能力の向上を図りました。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項目	取組方針	20年度（取組と実績）
(1) 経営支援にかかる連携	商工会議所・商工会等と連携し、地域の経営者との経営相談・経営改善・支援貸出に取組めます。	≪地域活性化、創業・経営支援にかかる連携≫ 平成20年度地域力連携事業のパートナー機関として、地域事業者への情報提供を充実し、広島県商工会連合会のセミナー等の紹介などを積極的に行いました。 セミナー参加者 3名 事業承継相談 1件 ・中小企業診断協会と連携して経営支援に取組めました。 経営支援の取組 4先 ・地区内の商工会・商工会議所等との連携による経営支援に取組めました。 経営相談・経営支援の取組 16先
(3) 多重債務者問題への取組み	あのネット機能等を活用し、多重債務予防に取組めます。	≪多重債務予防及び、多重債務者への支援≫ 「あのネット」のライフプラン作成機能を活用し、多重債務予防に取組めました。 ・住宅ローン等の申込時に、申込人のライフプラン（将来の生活設計）についてアドバイスし、多重債務の予防を図りました。 ・多重債務者については、債務履行の可能性を見極め、債務の一本化、返済期間の延長等により毎月返済額の軽減を図る等、多重債務の改善をしました。 ・貸金業者から高利で借入れしている債務者へは、利息制限法と「みなし弁済の無効の主張」について適切に説明し、相殺や返還請求できるものについては債務者の要望により弁護士等を紹介することとしております。 ・住宅ローン先への多重債務者予防 105先 ・多重債務者への支援融資 8先 61百万円
(4) 情報提供	顧客へ有益な情報と思われる経済情報等を組合内LANシステムへ掲載し、お客様への経営情報と生活情報の提供に取組めます。	≪経営情報・生活情報の提供≫ 事業経営に関するアドバイス等を記載した「リョーシン経営情報レポート」を平成20年4月より20回発行、役立つ経営情報を提供いたしました。 地域生活者への生活情報を記載した「リョーシン生活情報レポート」を平成20年6月より6回発行、役立つ生活情報を提供いたしました。 地域の情報、組合の活動状況を紹介する「リョーシンとぴっくす」を、内容を充実して20年4月、11月の年2回発行いたしました。